

平成24年度病虫害発生予察予報第12号(3月)

平成25年3月4日  
高知県病虫害防除所

(予報の概要)

作物名	病虫害名	予想発生量
抑制・促成キュウリ	べと病 褐斑病 うどんこ病 つる枯病 黄化えそ病 ミナミキイロアザミウマ タバコナジラミ	並～やや多 並 並 <u>やや多</u> 並 <u>やや多</u> 少
促成ナス	黒枯病 すすかび病 うどんこ病 ミナミキイロアザミウマ ヒラズハナアザミウマ タバコナジラミ ハモグリバエ類 ホコリダニ類	<u>多</u> <u>多</u> <u>多</u> やや少 やや少 <u>多</u> 少 少
促成ピーマン・シシトウ	黒枯病 斑点病 うどんこ病 アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ ヒラズハナアザミウマ タバコナジラミ ハダニ類	<u>やや多</u> <u>多</u> <u>やや多</u> <u>多</u> 少 並 <u>やや多</u> <u>やや多</u>
促成トマト	灰色かび病 葉かび病 すすかび病 黄化葉巻病 タバコナジラミ	<u>多</u> 少 並 並～やや多 やや少

# I 気象予報(高松地方気象台 平成25年3月1日発表)

<特に注意を要する事項> 3月2日から4月1日

1週目後半から2週目に書けて気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

天気は、数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。2週目は、高い確率60%です。

<確率> (単位:%)

期 間	要 素	予報対象地 域	低 い (少ない)	平 年 並	高 い (多い)
1ヶ月	気 温	四国地方	20	40	40
	降 水 量		40		20
	日照時間		20	40	40
1週目	気 温	四国地方	20	40	40
2週目			10	30	60
3~4週目			30		40

<予報の対象期間>

1ヶ月 : 3月 3日(土) ~ 4月 2日(日)

1週目 : 3月 3日(土) ~ 3月 9日(金)

2週目 : 3月 10日(土) ~ 3月 16日(金)

3~4週目 : 3月 17日(土) ~ 3月 30日(金)

## 病虫害発生予想

### 1. 抑制・促成キュウリの病虫害

#### 1) 黄化えそ病

**予 想** 発生時期:並 / 発生量:並  
**根 拠**

- (1) 2月下旬の巡回調査で本病害は少~やや少発生ですが、媒介虫であるミナミキイロアザミウマが増加傾向である。
- (2) 黄化えそ病の発病株率が中央部でやや高く、ウイルス感染株が多いことから、今後ミナミキイロアザミウマの増加に伴って、新たな感染が増加すると予想される。

#### 対 策

- (1) 発病株は感染源になることから、見つけ次第早めに除去する。
- (2) 媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除については、当該害虫の項を参照。

#### 2) ベと病

**予 想** 発生時期:並 / 発生量:平年並~やや多  
**根 拠**

- (1) 現在、県中央部と西部で平年並、中西部では少発生である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、気温はやや高く、降水量は少ないと予想されているが、夜間ハウス内が高湿度状態になりやすく、現在の発生状況よりやや病勢を進展させる気象要素と考えられ、発生量は平年並～やや多で推移すると予想される。

**対 策**

- (1) やや低温で多湿が発生の条件であることから、十分な換気と適正な温度管理に留意する。
- (2) 蔓延すると防除が困難になることから、初期防除に努める。
- (3) 窒素不足や土壌水分過多は発生を助長するので、適正な肥培管理により草勢を維持する。

3) つる枯病

**予 想**                    発生時期:並                    /                    発生量:やや多

**根 拠**

- (1) 現在、県中央部で発生が多く、発病株率も高い。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、晴れの日も多い事が予想されているが、既発ほ場で温度上昇にともなう病徴の進展が予想され、現在の多発生の状況で推移すると思われる。

**対 策**

- (1) 多湿が病勢進展を促進することから、換気を十分に行い適正な温湿度管理に留意する。
- (2) 窒素過多による生育障害や成り疲れによる株の老化などは発生を助長するので、適正な肥培管理に注意し、草勢を維持する。

4) ミナミキイロアザミウマ

**予 想**                    発生時期:並                    /                    発生量:やや多

**根 拠**

- (1) 現在、県中央部で発生面積、寄生葉率とも高水準である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では晴れの日が多く、気温は高めで推移すると予想されており、ハウス内で増殖が進むとともに野外からの飛びこみも考えられ、現状より増加傾向で推移すると思われる。

**対 策**

- (1) ミナミキイロアザミウマは生長点部を好んで寄生するため見つけにくく、また、薬剤もかかりにくいことから、散布にあたっては丁寧な散布を心がける。また、薬剤感受性低下の事例も報告されており、同一薬剤や系統の同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 粘着資材等の物理的防除も併用し、ハウス内での密度低減に努める。ただ、紫外線カットフィルム下では青色には誘引されないため黄色を利用する。

## 2. 促成ナスの病害虫

1) 黒枯病・すすかび病

**予 想**                    発生時期:並                    /                    発生量:多

**根 拠**

- (1) 現在、県東部～中央部で発生面積、程度とも平年を上回る水準である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では晴れの日が多いという予想であるが、中下旬からの温度上昇にともなって、既発ほ場で発生がより進展すると考えられる。

**対 策**

- (1) 蔓延すると防除困難なことから初期から防除を徹底し、薬剤感受性低下発現を防ぐため同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 多湿や急激な温湿度管理、極端な肥培管理は草勢を低下させ、病勢進展を助長させるので避ける。

2) うどんこ病

**予 想** 発生時期:並 / 発生量:多  
**根 拠**

- (1) 現在、県全域で発生面積が平年を上回っている。
- (2) 向こう1か月の気象予報では晴れの日が多いという予想で、中下旬からの温度上昇もともなっていて、既発ほ場で発生がより進展するとともに、本病害の発生しやすい時期でもあることから、新たに発生が増加すると考えられる。

**対 策**

- (1) 蔓延すると防除困難なことから初期から防除を徹底し、耐性発現を防ぐため同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 多湿や急激な温湿度管理、極端な肥培管理は草勢を低下させ、病勢進展を助長させるので避ける。

3) ミナミキイロアザミウマ

**予 想** 発生時期:並 / 発生量:やや少  
**根 拠**

- (1) 現在、県内全域で発生は少ない。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、晴れの日が多く、気温は高めで推移すると考えられ、増殖を助長する条件であるため、増加傾向で推移すると考えられる。ただ、県内では全栽培面積の62%でタバコカスミカメを中心とした天敵防除が導入されており、天敵昆虫が安定的に定着しているほ場では急激な増殖は少ないと考えられる。

**対 策**

- (1) 多発すると防除が困難なことから、低密度時から薬剤の系統を変えながら防除する。天敵導入ハウスでは影響の少ない薬剤を選択する。
- (2) 粘着資材など物理的な方法も導入し、密度低減に努める。

4) タバココナジラミ

**予 想** 発生時期:並 / 発生量:多  
**根 拠**

- (1) 現在、県中央部で多く、寄生株率は全域で高い水準である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では気温の上昇が予想されており、このまま多発生で推移すると考えられる。ただ、ミナミキイロアザミウマ同様、タバコカスミカメを中心とした天敵防除が導入されているほ場では、急激な増殖は少ないと考えられる。

(2)

**対 策**

- (1) 薬剤感受性低下回避のため系統の同じ薬剤の連用は避け、発生初期から薬剤防除を行う。
- (2) 黄色粘着資材等物理的防除も併用し、ハウス内での密度低減に努める。

### 3. 促成ピーマン・シシトウの病害虫

1) 斑点病

**予 想** 発生時期:並 / 発生量:多  
**根 拠**

- (1) 現在、県内全域で平年に比べてやや多～多発生である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、晴れの日が多いと予想されているが、天敵導入により薬剤防除回数も減少していること、温度上昇にもなっていて増加傾向になると考えられることから、多発生が

予想される。

#### 対 策

- (1) 多湿条件が発生を助長するので、換気を十分に行い、適正な温湿度管理に留意する。
- (2) 蔓延すると防除が困難になるので、初期防除を徹底するとともに、感染源となる罹病部位はできるだけほ場外へ出す。

#### 2) アブラムシ類

**予 想**            発生時期：並            /            発生量：多  
**根 拠**

- (1) 現在、県内全域で平年より発生が多い。発生しているアブラムシの種類は、ワタアブラムシ、モモアカアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシである。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、気温の上昇が予想されており、既発ほ場を含め現在の発生状況より増加傾向で推移すると考えられる。

#### 対 策

- (1) 増殖が速く、また局部的に多発する場合があるので、発見が遅れないように注意し早めに防除する。
- (2) 天敵導入の際は発生しているアブラムシの種類に注意して、効果のある天敵を導入する。なお密度の高くなったほ場では、天敵に影響の少ない薬剤で密度を下げてから天敵を放飼する。

## 4. 促成トマトの病害虫

#### 1) 灰色かび病

**予 想**            発生時期：並            /            発生量：多  
**根 拠**

- (1) 現在、平年に比べ発生面積、発病果率とも平年より高いレベルである。
- (2) 向こう1か月の気象予報では病勢を助長する気象要因が多く、温度上昇にともなってやや増加傾向で推移すると考えられる。

#### 対 策

- (1) 発病後では防除が困難であるので、予防を主体とし、発生を見たら早めに治療効果の高い薬剤で対応する。
- (2) 蒸し込みぎみの管理や過繁茂は本病を助長することから、温湿度管理や換気、肥培管理、摘葉等作業には十分留意し、適正な栽培管理に努める。

県民の皆様提供提供する農作物の病害虫防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

1. 病害虫防除所ホームページ（こうち農業ネット）：<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou/>  
病害虫発生予察月報、病害虫発生予察予報  
病害虫発生予察注意報、病害虫発生予察警報、病害虫発生予察特殊報  
病害虫発生予察技術資料  
新しく問題となっている病害虫        etc.
2. こうち農業ネットサービス    当方で提供する情報の閲覧は無料です（通信料は別途必要となります）。  
・携帯電話を使った病害虫関連情報（どなたでも利用可能です）
  - <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/>（Iモード）
  - トップメニュー 地域情報 タウンガイド・行政 高知県庁メニュー 農業情報：(ezweb)
  - 四国メニュー タウン情報・行政 高知県庁メニュー 農業情報：(77-)病害虫発生予察情報（概要）